

BULK FORMING

日本塑性加工学会 鍛造分科会ニュース No. 21

1995年3月

鍛造分科会事務局

TEL/FAX 045-771-4709

〒235 横浜市磯子区水取沢町150-4・14-104西山方

実務講座ならびに研究集会の日程について

第23回鍛造実務講座（本年2月9,10日実施予定）が延期となりましたことはご承知の通りです。その後、担当委員を中心に検討をしてみましたが、下記のように設定させて頂きました。

なお、研究集会ならびに総会は予定どおり東日本地区にて行う予定です。詳細につきましては、後日改めて連絡致します。

記

(1) 第23回鍛造実務講座：

1995年10月19日(木)20日(金)

内容についてはすべて前回実施計画案どおり。

(理由)

①JR再開後（5月連休あけごろ）できるだけ早く姫路で行う。

②場所を変えて（大阪、名古屋など）4月ごろに実施する。

③実施を一年間遅らす。

等の意見がありましたが、①については不確定要素が多いこと、研究集会総会の実施が困難になること、②についてはやはり工場見学を大切にしたい等の意見もあり、③は少し空白期間が長すぎる等の指摘がありました。従来は実務講座は10月に実施されていた経緯もあり、8カ月遅れにはなるものの、内容的には立派に通用するだろうから、10月実施ではどうかということになりました。幸いにも山陽特殊製鋼さんと三菱電機さんから10月実施OKというご返事を頂きましたし、今年の塑加連が9月末ということもあり、上記の様に設定させて頂きました。

(2) 第54回研究集会ならびに1995年度総会：

開催日：1995年6月23日(金)

開催場所：日立製作所 自動車機器事業部（佐和工場）

茨城県ひたちなか市大字高場2520

研究班集会および運営委員会は前日に行う予定です。

第10回アーヘン鋼コロキウム

(アーヘン工大塑性加工研究所、鉄鋼製造法研究所共催)

- 1995年3月23~24日 -

(工藤 英明氏訳)

1. 軽量構造 - 製品

- W. Bleck (アーヘン) 「自動車軽量構造用鋼」
- Ch. Scholl, R. Kopp (アーヘン) 「金属製中空構造」
- M. Hibben (ボン) 「アルミ特別仕立て(tailored)ブランク」
- B. Hachmann, R. Kopp (アーヘン)
「フレキシブル圧延 - 負荷に適應した板厚をもつ構造部品の製造」
- O. Pawelski, W. Rasp, A. Kolling, K. Schmeisser (デュッセルドルフ)
「ダイレス引抜き - 棒, 綿材のフレキシブル成形」
- F. Wuestefeld, W. Linnemann, R. Kopp (アーヘン)
「再現性あるショットピーニング成形」
- R. Gaertner, D. Schmoeckel, F. - D. Speck (ダルムシュタット)
「管材の軸 - 半径方向成形による中空製品」

2. 半固体状態における成形

- R. Kopp (アーヘン) 「チクソ鍛造」
- G. Hirt, T. Witulski, R. Cremer, A. Winkelmann (ランマースドルク)
「チクソ成形 - 輸送, 交通のための軽量構造のための新しいチャンス」

3. 圧延工場における新しい加工法と設備 - 平面及び長尺物のプロセス短縮

- W. Rhode, G. Flemming (デュッセルドルフ)
「圧延製品のための生産設備の設備技術におけるプロセス工程の有効な短縮」
- M. Braunschweig (ラッティンゲン)
「平面及び長尺物の製造における統合技術」
- J. Jestralk (ストールベルク), R. Kopp (アーヘン)
「2ロール直接圧延法における流動及び温度場 - モデル化とシミュレーション」
- E. Neuschuetz, C. - D. Wuppermann (デュッセルドルフ)
「4ロール圧延材における圧下面積最適化による効率上昇」
- W. Lehnert (フライブルク) 「鋼線材製造におけるプロセスの短縮」

4. 鍛造工業における新しい加工法と設備 - ニヤーネットシェイプ技術

- P. Nieschwitz, P. Schubert, St. Kruell (デュッセルドルフ), P. Gross (リッペンドルフ)
「リッペンドルフ材料組合 - 新工場紹介」
- A. Lieb (デュッセルドルフ)
「鍛造ハンマの経済的代替材としての液圧高圧鍛造プレス」
- W. Wolf (ハッターズハイム), T. Beckmann (アーヘン)
「より高い制御精度を有する新自動制御の概念にもとづく鍛造プロセスの信頼度の向上と, その統合生産システムへの組み込み」

5. 独創性と技術革新

- H. - H. Schrueder (アーヘン) 「独創性指向の研究開発マネジメント」
- W. Eversheim (アーヘン) 「技術的問題解決の際の決断」
- M. Franzke, R. Thomas, K. Westphal, T. Beckmann, U. Zitz, R. Kopp (アーヘン)
「(プラスチックによる)最適化実験による新しい刺激」